



徳富蘆花講座

『みみずのたはこと』の面白さ

明治・大正期に千歳村粕谷（世田谷区粕谷）に住んでいた文豪「徳富蘆花」（とくとみ ろか）をご存じですか？

徳富蘆花は、日露戦争後、トルストイを訪ねたロシア訪問から帰り、千歳村粕谷に妻愛子と住み着き、徳富健次郎としての活動を始めます。

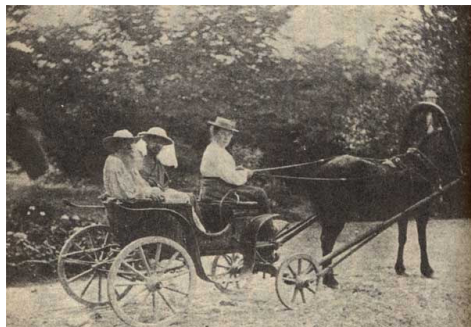
『みみずのたはこと』は、その日常を様々なテーマで描き続けた文集です。その面白さは、若者の「千歳村詣で」を引き起こすほど多くの読者を得ました。この作品の魅力、面白さを探ります。



世界を一周してみてもやはり日本が一番いい。そして日本の中で粕谷が一番いい。

a. 徳富蘆花

(写真出典) 表題肖像 国立国会図書館近代日本人の肖像。a.b.d.e 蘆花恒春園所蔵。c.f『みみずのたはこと』復活版より。



b. ヤースナヤ・ポリャーナ (トルストイ居宅) にて 左トルストイ(78才)、中央蘆花(39才)、右三女アレキサンドラ(22才)



c. 恒春園南面



d. 自宅の地蔵前の蘆花と愛子夫人



e. 粕谷の自宅と蘆花一家



f. 鋤取り (畑を耕す蘆花)

講師 中島国彦氏 (早稲田大学名誉教授、日本近代文学館前理事長)

日 時	令和8年11月7日(土) 午後2時～4時 (台風のため6月27日開催を上記に延期しました)
会 場	粕谷区民センター 2階多目的ホール(粕谷4-13-6)
申 込	電話予約で10月7日(水)より先着100名まで
申込み	世田谷区立 粕谷図書館 電話 03-3305-1661
・主催	FAX 03-3305-1664